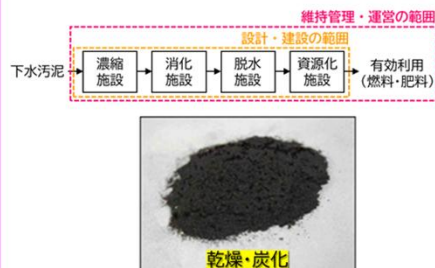


仙台市南蒲生浄化センターCN処理場計画

- 宮城県仙台市南蒲生浄化センターにおいて、省エネ技術や創エネ技術の導入によりカーボンニュートラルを推進

(創エネ)汚泥処理施設の再構築

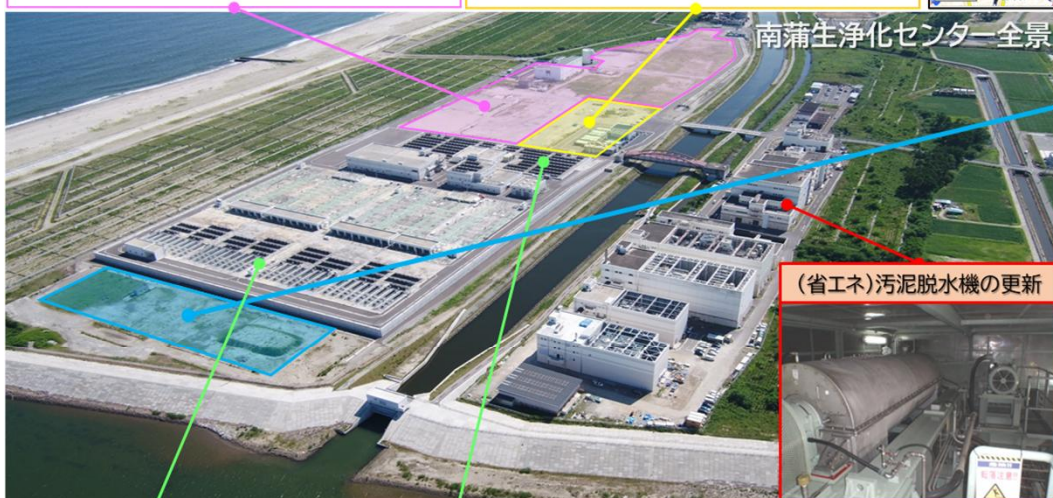
下水汚泥を資源化处理(燃料・肥料原料)



(創エネ)消化ガス発電設備(完成イメージ)



南蒲生浄化センター位置図



脱炭素先行地域の取組み

(創エネ)オンサイトPPA
(太陽光発電設置イメージ)



(参考)仙台市内清掃工場の廃棄物発電

南蒲生浄化センターへ送電



(既設)小水力発電設備



(既設)太陽光発電設備



(省エネ)汚泥脱水機の更新



南蒲生浄化センターへ
再エネ電力メニューの供給

下水汚泥の 資源化

老朽化した汚泥処理施設の再構築を行い、汚泥の全量を消化し資源化处理(燃料・肥料原料)を行う。

消化ガス 発電

老朽化した既設汚泥濃縮施設の改築に合わせて消化施設を整備し、消化ガス発電事業を行う。

太陽光 発電

既設太陽光発電・小水力発電に加え、南蒲生浄化センター未利用地にオンサイトPPAによる太陽光発電設備を導入する。

省エネ

低動力型高効率遠心脱水機を導入し、消費エネルギー量の削減を図る。

● 省エネ技術導入によるエネルギー削減効果 48%

● 創エネ技術導入によるエネルギー創出効果 3759%